

あなたもアートに挑戦してみませんか？ 

■美術講座「アートのスパイス」の受講生を募集

☎ 文化・スポーツ課（春日文化ホール内） ☎ 74-1050 ☎ 74-2855

丹波アートコンペティションの関連事業として、丹波の芸術を熱くする美術講座「アートのスパイス」を開催します。今回は「現代美術入門」と「絵画」の講座です。

◇共通事項

■申込方法 / 各住民センター・ライフピアいちじまに設置の「参加申込書」に必要事項を記入し、文化・スポーツ課に持参またはFAXで申し込み。

■申込期限 / 1月21日（金）※申込多数の場合は抽選とします。

◇現代美術入門講座

■とき / 2月11日（金・祝）午後2時～

■ところ / 春日住民センター 大会議室

■内容 / 講演「現代アート -その哲学を探る-」近代から現代へのアートの価値観の流れを紹介

■対象 / 中学生以上

■定員 / 30人

■講師 / 宝塚市立文化芸術センター館長・丹波アートコンペティション審査員 加藤義夫さん

◇絵画講座

■とき / 2月12日（土）午後1時45分～

■ところ / 春日住民センター 創作実習室

■内容 / 「ドローイング -なぎなた技法に挑戦！-」水彩絵の具を用いて新しい表現に挑戦。不自由な技法がかえって生き生きとした表現を呼び込むことを体験することができます。

■対象 / 小学生以上※小学生は保護者の同伴が必要

■定員 / 15人

■講師 / 画家・丹波アートコンペティション審査員 北山善夫さん

■持ち物 / 水彩用具一式

※彩色筆や平筆などの大きい筆、パレット、筆を拭く布、水彩絵の具またはアクリル絵の具12色程度、筆洗器

市長・林時彦の 時を駆ける

職員の声を聴く



日本中を不安の渦に巻き込んだ新型コロナウイルスは、全国の感染者数が減少し、現時点においては、落ち着いている状況です。

また、9月末で緊急事態宣言期間が終了し、感染拡大防止のために中止や見送られていた事業が、市内各地で再開されるなど、新しい日常がスタートしています。

市長室でも11月から、新しい取り組みとして、ランチミーティングをはじめました。「職員から話を聞くことができる市長でありたい」との想いから職員へ呼びかけて始めたもので、現在は若手職員を対象に実施しています。参加を希望してくれた職員と私が一緒に昼食をとりながら、ざっくばらんに話をする取り組みです。

ランチミーティングでは、まず、参加者へ私が作った弁当を披露し、料理の腕前を自慢します。すると、職員も負けじと自分のセールスポイントや趣味などを話してくれるのですが、個

性豊かな職員に圧倒されます。

また、市役所でやりたいことなどをしっかりと主張する姿を見ていると、今後の成長が楽しみで嬉しくなってきました。

日ごろ市民の皆さんと直接かわり、各現場の最前線で働く職員の話を聴くことで、様々な新しい発見があります。今後も引き続き、目指すまちづくりについて一緒に語れる機会を積極的に創りたいと考えています。

職員に活力があれば、活気のある市役所になります。そして、市役所が活気づけば、丹波市も今以上に活性化されると思っています。元氣な丹波市を目指し、引き続き職員との対話を大切にしながら、市政を推進して参ります。



ランチミーティングの様子

※写真撮影の都合上、マスク着用はしていませんが、感染予防対策を行っています。

丹波市長 林 時彦